

安全・安心ネットワーク活動

※世帯数及び人口は令和3年4月1日現在

南区	小学校区・地区名	第一藤田学区	世帯数	1,450世帯	人口	3,715人
----	----------	--------	-----	---------	----	--------

■組織の概要

第一藤田学区は、岡山市南区に位置し、明治以降に始まった干拓地です。都地区と大曲地区の、2つに大きく分かれています。安全・安心ネットワークは合同で活動しており、学区内の20団体で組織されています。

活動は、会長1名、副会長3名、事務局長1名の5名で役員会を行い、年間行事の日程調整や新規事業など、学区としての進め方について協議した上で総会にかけ、実施しています。また、第一藤田学区の特徴である「ボランティアネットワーク」を安全・安心ネットワークの中で立ち上げて、活動に関わる人を増やしてきました。

■活動の取組内容

柱となる取り組みは、次の3つです。

- ① 命のカプセル（あんしんカプセルおかやま）配布事業と小地域ケア会議
- ② 炊き出し訓練と災害学習
- ③ いきいきふれあいサロンの開催



【炊き出し訓練】



【災害学習】

「ボランティアネットワーク」に参加して下さっている方々には、小学校の地域授業での講師、サロンのお世話、命のカプセル配布会議で、活動の申し送りをしていただくなど、できる範囲での活動をお願いしています。

■活動の効果

各種活動を通して、学区のなかで、人と人との関わりが増えることにより、声掛けや挨拶がしやすい、明るい雰囲気ができ、サロンに参加する高齢者も増えてきました。今では学区内3か所で個

性豊かな高齢者サロンが存在します。

命のカプセルも定着し、対象の方からは、一年ごとの更新時期を待たずに「新しく届けて欲しい」との声もしばしばあります。地元消防署がかけつけた



【いきいきふれあいサロン】

時、実際に何件も役に立ち、誉めていただいたとの報告がありました。このように、学区に住んでいる人の役に立つのだから、続けようと思っています。

命のカプセル配布活動前の小地域ケア会議では、民生委員がリーダーとなり、地区ごとにテーブルを囲み、地区の地図を広げ、カプセルの配布計画や更新確認手順の話し合いをします。この時、町内会長と民生委員の顔合わせもできて、活動しやすくなります。

■工夫していること

「ボランティアネットワーク」は登録制で、メンバーはそれぞれ何らかの講習を受けています。何かあれば、助けて手をかしてくれるような人が、活動に参加しやすくなるように組織化しました。

■活動の課題

この10年間で、地区の状況が変化しています。今の地区の特徴に合わせ、無理なく活動を続けることができるように、内容を変えていこうと思っています。例えば今後は、地震対策・水害対策をもう少し踏み込んで、災害時の連絡手段としての無線局の活用を考えています。

コロナ感染拡大防止のため、今は学区全体の活動は自粛中ですが、防災訓練など、活動を継続している地区もあり、地域力・エネルギーを感じます。各地区の特性を生かした活動を応援しながら、学区全体の事業も継承していきたいと思っています。